

こんなことあったよ！レポート

平成20年9月24日(水)

有機農業と地産地消に関する勉強会！編



循環型社会や安全な食に関心のある団体と一緒に、ときめき隊のホームを見学。最初にみたのは、石川博孝さんのビニールハウス。



ビニールハウスの中には、トマトとなすの苗が整然と並んでいました。食べごろのトマトが鈴なりです。



無農薬トマトのあまりの美味しさに石川ファンが急増！

9月24日(水) 澄みきった秋晴れの日、のしろ自神ネットワークの仲間、常盤「ときめき隊」の生産地を初めて訪問しました。上町すみれ会は4名でしたが、能代市内の活動団体「コンポスト見なおし隊」「食の環研究会」などから36名が参加。能代市環境企画課、宮腰商事等を含むと40名ほどの大集団でした。

石川さんのトマトハウスと脱穀間近い田んぼを見学。無農薬トマトをガブリ！大切に育てられた真っ赤なトマト達は絶品でした。

その後、高橋さんのあま〜い香りが漂うメロンハウスを見学、その場で試食させて頂き、みんな大草びでした。

交流センターでは、朝市でお馴染みの野村さんをはじめとする、女性部の方々が美味しい手作りお菓子や漬物を作って待っていて下さいました。きっと朝早くから皆さんで準備を下さったんでしょうね。感謝の気持ちでいっぱいになりました。

その際のPR効果は大きく、その後の日曜朝市には、顔なじみになった各団体の方々が大量買い物に来て下さったそうです。ときめき隊の活動の輪がどんどん広がっていきますね。

善き行いは、必ず華ひらくものです！私達も見習わなくちゃネ！

文・写真：能登 祐子



続いて稲刈りが終わり、天日干しの真っ最中の石川さんの田んぼで、こだわりの米作りの説明を聞きました。手間がかかっても自分も食べて美味しいと思う安全なものを、消費者に届けたいという熱意が伝わってきます。



トマトのナスもとても力強く元気に育っていて、見るからに美味しそうです。



次に行ったのが、高橋裕さんのビニールハウス。収穫目前のメロンがたわわに実っていました。



ハウスの中には、美味しいメロンができる工夫や秘密が幾つも隠されていました。



甘くてジューシーなメロンの試食に、高橋ファンも急増！



見学会後、常盤の里交流センターでアドバイザーに山本地域振興局の伊藤征司さんを迎え、環境企画課の須田靖正さんの進行で意見交換会を行いました。ときめき隊の手づくりのおもてなしもありました。このような顔の見える間柄での地域づくりが、小さな環から大きな環に広がっていくといいですね。

長かった残暑も一段落した9月24日に能代市常盤の農場見学と「有機減農薬栽培に関する勉強会」に出席しました。タイトルが専門的なので解るかなと、内心不安でしたが、思い切って出かけて参りました。

市のバスで現地に向かいましたが、自分の予想では何人かのグループ農場と想定していましたら個人の農場で、石川様と高橋様の広いハウス農場でした。多人数を受け入れて下さったお二人様には感謝いたしております。

収穫期を迎えた野菜や果物は一目瞭然、光って見えました。一つの傷もありません。「試食をしてみてください。」とのお言葉に甘え頂きましたが、その美味しさに舌鼓をうちました。農業は一年がかりと言っても過言ではないわけで、その取り組みが即結果に繋がるのでしょ。

田んぼに移り、こだわりの稲作をやっている説明を伺って、昔ながらの農法、現代の農法、その理想は？と考えてしまいました。

見学終了後の交流センターでの参加団体からの質疑応答では、難解な問題がたくさんあったように思います。最後にときめき隊様の全ての手づくり・心のこもったおもてなしがあり、地産地消の有り難さを実感いたしました。

今回参加させていただき、ときめき隊生産者の真摯な取り組みに感激いたしました。また、消費者としての姿勢をもう一度よく考えてみるきっかけを与えていただいたすみれ会の企画に感謝いたします。

文：大塚 ちや

写真：能登 祐子

参加団体（○印はネットワークメンバー）

- 農業者 ○ 常盤ときめき隊
- 消費者 ○ 上町すみれ会・食の環研究会
・コンポスト見なおし隊
- 堆肥製造試行企業
・宮腰商事・北勢工業
- 事務局 ○ 能代市環境企画課
- 協力 ○ 山本地域振興局